

第1回ちば講座アワード

自由研究を応援！夏休みこども向け体験教室「忠敬の地図作りにプチ・チャレ！」実施報告書

香取市生涯学習課伊能忠敬記念館

日 時：令和元年8月4日、11日、12日、18日 10:30～12:00

会 場：伊能忠敬記念館第2展示室

参加者：市内～県外の小学校4年生～中学校2年生 計39人

★講座のねらい

忠敬の測量方法を学習し、身近な道具を使って実際に測量を体験することによって、市内外の児童・生徒に伊能忠敬への興味・関心を深めてもらうとともに、夏休みの宿題や自由研究等の参考となる学習機会を提供する。

測量体験①	測量体験②	製図体験
 模型方位盤を使って、北から梵天（目標）への角度を測る。	 巻尺で長さを測り、記録する。	 測量結果をまとめ、50分の1の縮尺で製図する。

★参加者の声（抜粋）

「地図作りについて体験できて、とても楽しかったです」（小4・男）

「正確に地図を作るのは難しいと思った。途中で少しずれてしまうと最後ずれてしまう」（小5・女）

「この部屋だけでもはかるのがとても大変で忠敬さんはすごく大変だったんだなあと思いました」（小6・女）

「曲がるたびに角度を測るので時間がかかると思った。17年毎日やったのはすごい（中2・男）」

★成果と課題

全体では製図体験についての感想が最も多く、分度器の使い方など作業に苦戦し、「大変さ、難しさ」を実感したようだ。それだけに、測量したことが製図してはじめて地図として目に見える成果となり、「楽しさ、面白さ」「達成感、うれしさ」、あるいは誤差が出たことに対する「悔しさ」を感じたようだ。また、この体験から忠敬の全国測量の様子を想像した時に驚きや感心といった感想に繋がっている。

忠敬についての情報は様々な媒体から入手できるが、測量を体験する機会は貴重である。原理的には単純であり、小学生にも理解できるものだ。しかし、実際にやってみるとそう簡単ではなく、測量技術の他にもチームワークなど様々な要素が必要だとわかる。この体験を通じて、忠敬に限らず地図、測量、算数、歴史などにも興味を広げるきっかけを提供することができた。

課題として、初対面で共同作業をするのに多少戸惑いがあるため、短時間でも心理的距離が縮まる工夫ができれば、より楽しく盛り上がれると考える。

